

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	当栄ケミカル株式会社 長野工場							
代表者名	氏名	白石 直人	役職名	工場長				
主たる事務所の所在地	長野県長野市豊野町豊野742-3							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	1641：脂肪酸・硬化油・グリセリンの製造						
主たる事業の概要	精油メーカー（植物油）より発生するアルカリフーツ（油滓）から脂肪酸を製造							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	2676	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	1	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

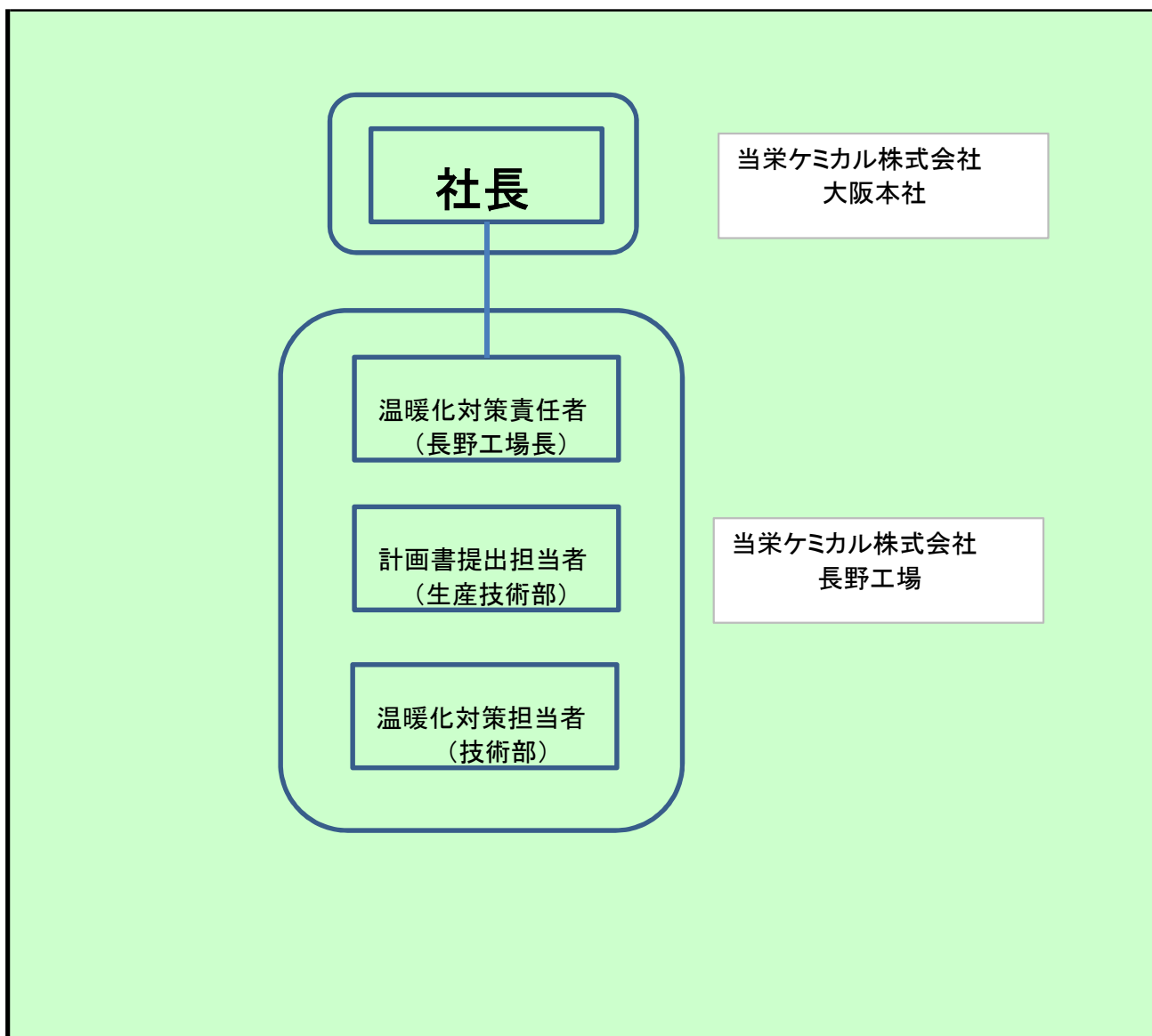
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	メールで申し込み後、当栄ケミカル株式会社長野工場において業務時間内に閲覧可能。 E-Mail:n-imai@toeichemical.co.jp
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

工場において主たる温室効果ガス排出源である熱媒ボイラー燃料の転換と電力量消費の削減

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	5,961	t-CO ₂	販売	267	単位	千万円	
25年度	調整後排出量	4,950	t-CO ₂	基準原単位	22.33	t-CO ₂ /	千万円	
目標年度	目標排出量	5,782	t-CO ₂	目標原単位	21.66	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	3年間で≒3%の削減は電力消費削減、燃料転換により達成可能と思われる。						※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。	
第一年度	排出量	5,813	t-CO ₂	販売	275.00	単位	千万円	
	調整後排出量	5,785	t-CO ₂	原単位	21.14	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた実績削減率※
26年度	削減率	2.48	%	削減率	5.32	%		
排出量等の増減理由	売上金額に対して電力消費量はほぼ横ばいであったが、重油消費量が減数となっている。これは社内発生する副産物(植物系由来)を燃料の一部として使用した結果と思われる。							
第二年度	排出量	5,469	t-CO ₂	販売	253.00	単位	千万	
	調整後排出量	5,451	t-CO ₂	原単位	21.62	t-CO ₂ /	千万	寄与度の合計から求めた実績削減率※
27年度	削減率	8.25	%	削減率	3.17	%		
排出量等の増減理由	生産販売量は昨年より減少したが、ユーティリティ関係は生産量にあまり影響されず、重油消費量が僅かに減少したのみであった。又消費電力の多い水銀灯からLED照明への切り替えも僅かであるが電力量の削減に寄与している。							
第三年度	排出量	6,114	t-CO ₂	販売	253.00	単位	千万円	
	調整後排出量	6,086	t-CO ₂	原単位	24.17	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた実績削減率※
28年度	削減率	(2.57)	%	削減率	(8.25)	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	生産販売量は昨年並みと低調であった。通常ですとボイラー等ユーティリティ関係も圧縮できるものであるが、製造プロセスの変更などによりエネルギーの浪費が増えたと思われる。今後はユーティリティ特に大量消費する熱媒ボイラー(A重油)の燃料転換、冷却水ポンプのインバータ化などを次年度の設備改善項目に加えて改善する。							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	1	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	1	t-CO ₂	削減率	0	%
26年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	1	t-CO ₂	削減率	0	%
27年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	1	t-CO ₂	削減率	0	%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	320103 燃料の管理	H27, 28	未定	H27	145
2	エネ起	380752 LEDランプの導入	H27, 28	未定	H27	146
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	1011		28	18	28
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	5,961	1	5,813	1	5,469	1	6,114
1,500k1未満								
合計	1	5,961	1	5,813	1	5,469	1	6,114

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他				
合計	0	0	0	0
自動車総数	1	1	1	1
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特に活動無し
その他	特に無し

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率98%。
公共交通機関の利用促進	啓蒙活動は行っていない。
来客者の交通対策	対策無し
物流の合理化	ドラム缶荷姿からコンテナ荷姿あるいはタンクローリーへの移行

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	特に推進活動は行っていない。
第一年度実績	各現場照明をLEDに順次交換している。
第二年度実績	消費量の多い水銀ランプを約4割LEDランプへ更新
第三年度実績	川への放流水を設備の冷却水として再利用。

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	特に無し	
その他	特に無し	